

第4章 公共交通のめざす姿に向けた施策・事業

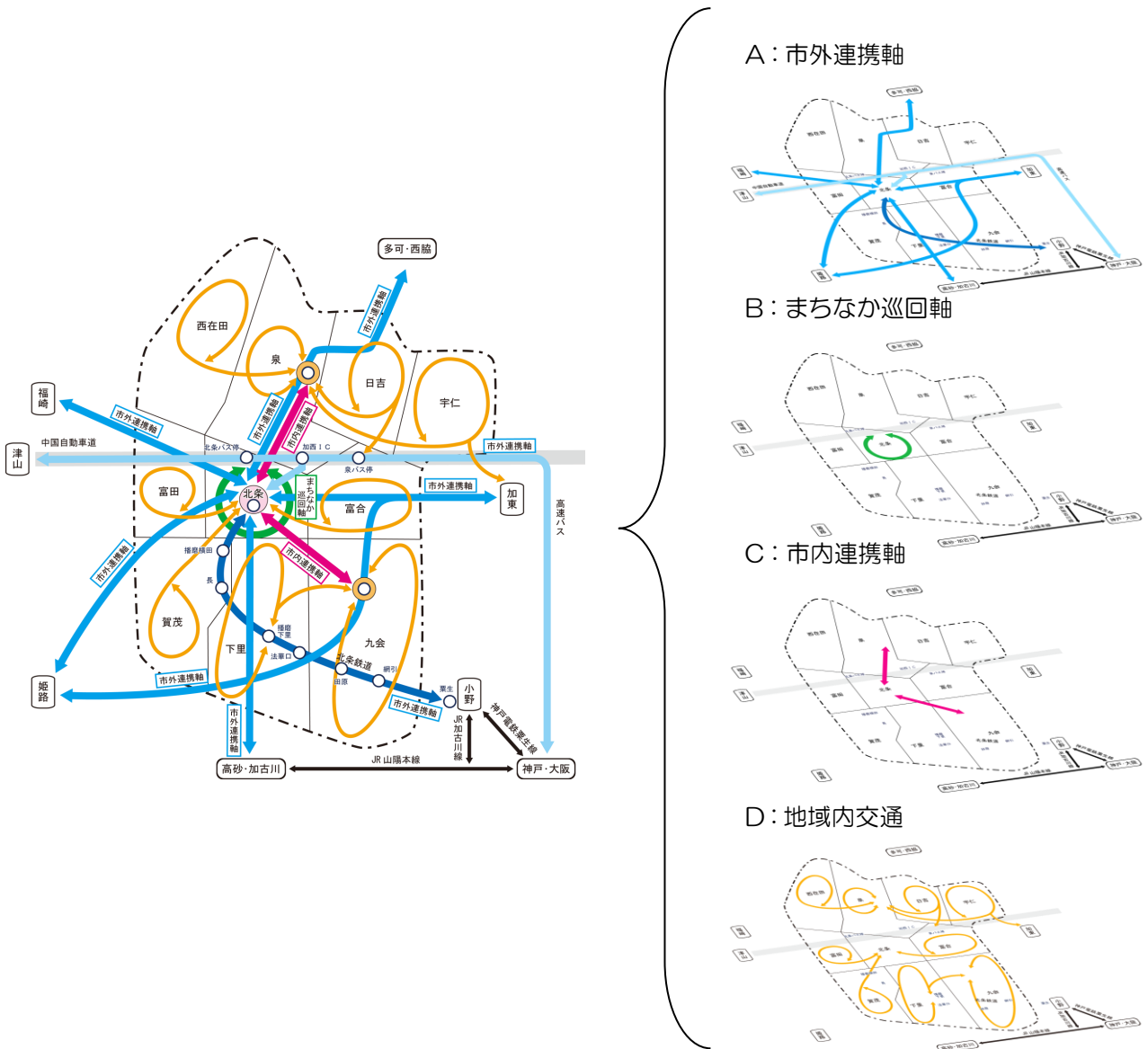
■ 施策・事業の推進にあたっての考え方

施策・事業の推進に向けては、単に事業を実施するだけでは最大限の効果は発揮できないと考えられます。

このため、各施策・事業を連携して実施していくことに加えて、第3章で示した方向性を念頭に置いて、めざすべき公共交通ネットワークの各階層を有機的に結び、連携していくことが重要です。

さまざまな連携により、公共交通のめざす姿の実現をめざします。

< めざすべき公共交通ネットワーク >



■ 公共交通のめざす姿に向けた施策・事業一覧

13の施策について、より具体的な内容を示した事業を以下に整理しました。今後は、この施策・事業を展開、推進していきます。

なお、表中に示す「重点事業（強く推進する事業）」「主要事業（優先して実施する事業）」は、公共交通事業のうち、短期的・優先的に取り組む事業であり、加西市の公共交通体系の根幹となるべき交通事業として設定しています。

＜ 公共交通事業一覧 ＞

※◎：重点事業、○：主要事業

基本理念	基本方針	施策	分類	事業	対象						
					鉄道	高速バス	路線バス	ねっぴり号	はっぴーバス・地域主体型交通	タクシー	
皆で協力して創る一人ひとりが未来に拓かれたるまちを愉しめる人をつなぐ公共交通	I みんなが利用しやすい	1 各地区最寄りの生活必須施設まで行きやすくなる公共交通の整備	◎	①地域主体型交通の導入及び維持改善					○	○	
			○	②タクシー事業等との連携による移動手段の確保					○	○	
				③はっぴーバスの運行改善					○		
		2 中心拠点へ行きやすくなる公共交通の整備	◎	④企業等の連携や社会情勢の変化に対応したバス・鉄道等の利用環境改善	○	○	○	○	○	○	○
			◎	⑤送迎負担の軽減に向けた取組推進	○		○	○	○	○	○
	3 中心拠点内を周遊しやすくなる公共交通の整備		⑥地域輸送資源の総動員による効率的な移動手段確保	○	○	○	○	○	○	○	
		○	⑦市街地線の機能強化					○			
	4 市外との連携を強化する公共交通の整備	○	⑧鉄道輸送力を活用した利便性向上		○						
			⑨社会の変化に応じた路線バスの運行改善				○				
	5 利用しやすい公共交通網の確保・維持		⑩他市町と連携した公共交通の利便性向上		○	○	○	○	○	○	
		◎	⑪公共交通サービスを確保・維持するための行政支援		○	○	○	○	○	○	
	II 公共交通結節性の高い整備	6 乗換環境の向上による結節機能の強化	◎	⑫需要に応じた交通結節点の整備			○	○	○	○	
				⑬駅や高速バス停における結節機能の向上	○	○	○	○	○	○	
7 分かりやすい運行情報の提供		○	⑭コミュニティバス等及び路線バス時刻表の統一化			○	○	○	○		
		○	⑮デジタルサイネージ等によるバス・鉄道情報（運行情報等）の提供	○	○	○	○	○	○		
	⑯コミュニティバス等におけるバスロケーションシステムの導入検討					○	○				
	⑰公共交通機関相互の乗り換えに対応した運行ダイヤの調整	○	○	○	○	○	○				
III 地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進	8 利用しやすい料金体系の構築		⑱高齢者や子育て世帯等に対する運賃割引				○	○	○		
			⑲免許返納者や乗り継ぎ利用者等に対する割引制度の拡充に向けた検討	○		○	○	○	○		
	9 積極的な公共交通情報の発信	○	⑳公共交通情報を総合的に発信	○	○	○	○	○	○		
			㉑広報紙・Webを活用した情報提供	○	○	○	○	○	○		
			㉒市民や観光客が集う主要施設に公共交通情報の掲示	○	○	○	○	○	○		
		㉓公共交通機関相互の運行情報の提供	○	○	○	○	○	○			
	10 利用しやすい公共交通の提供による利用意識の醸成	◎	㉔北条鉄道でのICカード導入、定期券ネット販売導入		○						
		㉕運動ポイント事業と連携した公共交通の利用促進	○	○	○	○	○	○			
		㉖公共交通無料お試し券の配布、車内絵画展の実施	○		○	○	○				
11 公共交通に関心を抱いてもらう取組の推進	◎	㉗企業と連携した公共交通利用環境改善の推進	○	○	○	○	○	○			
	◎	㉘公共交通の必要性を考える場づくりの推進	○	○	○	○	○	○			
	○	㉙モビリティ・マネジメント等の実施	○	○	○	○	○	○			
		㉚バス停サポーター制度の導入			○	○	○	○			
	○	㉛ふるさと納税・クラウドファンディング等によるサポート体制の構築	○	○	○	○	○	○			
	㉜オリジナルグッズの製作・販売による収益の確保	○									
IV 市外からの人も愉しめる環境づくり	12 市内を周遊しやすくなるための移動サービスの提供	○	㉝観光交通の導入・拡充・推進	○	○	○	○	○			
			㉞シェアサイクルの利用促進	○							
	13 市内の回遊を促進するPR等の実施	○	㉟北条鉄道における各種イベント等の実施	○							
		○	㊱企画乗車券（観光地周遊乗車券等）の継続・拡充	○		○	○	○			
	㊲鉄道と自転車の連携による回遊促進	○									
	㊳インバウンド需要に対応した環境整備	○	○	○	○	○	○				

基本方針Ⅰ：みんなが利用しやすい公共交通網の構築

施策1	各地区最寄りの生活必須施設まで行きやすくする公共交通の整備
------------	--------------------------------------

■現状・課題

- 北条、九会、泉地区の3地区は、日常生活に必要な生活必須施設（買物、医療、金融）が揃っており、一定以上の集積があります。
- しかし、その他の下里、富田、富合、賀茂、日吉、宇仁、西在田の7地区では、いずれかの生活必須施設が揃っていない、又は集積していない地区であり、不足する施設については、隣接する地区まで行くか、あるいは北条地区まで出てくる必要があります。
- 西在田・泉地区の一部には、NPO 法人原始人の会による「はっぴーバス」が運行しています。
- 市内の約4割の居住地は、鉄道駅やバス停が近くにない「鉄道・バス不便地域」となっており、行政のサポートのもと、地域が主体となった公共交通が必要と考えられます。
- 地域が主体となった公共交通の導入に向け、「地域主体型交通導入の手引き」を作成しており、地域住民の皆様と協力し、検討を進めています。

■めざす姿

- 各地区から最も近い生活必須施設が揃う拠点までの公共交通を整備することで、拠点まで行けば日常生活が可能なサービスを、どの地区でも受けられるような交通体系の構築をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

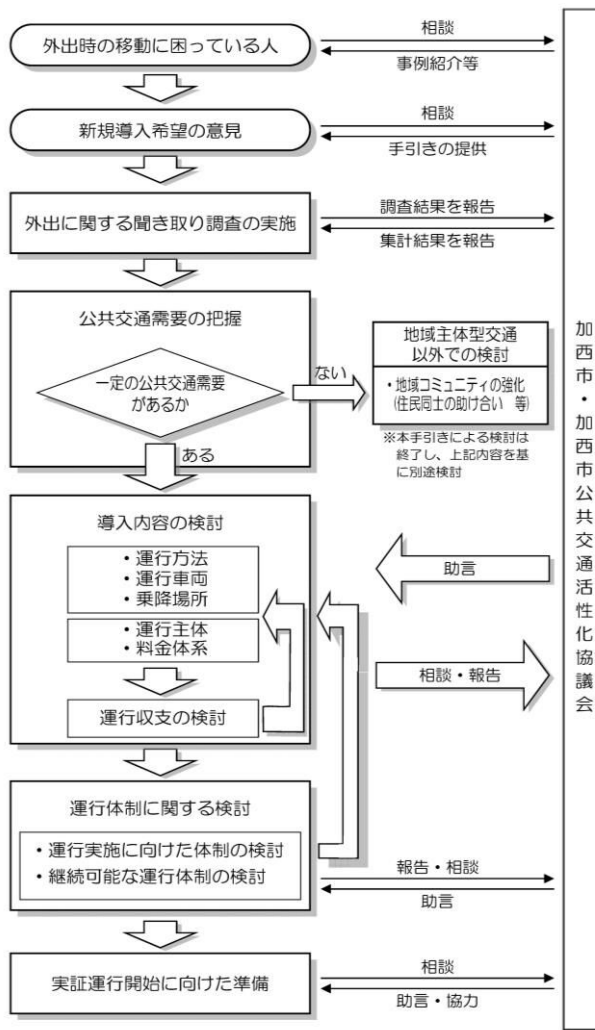
分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
重点事業	①地域主体型交通の導入及び維持改善	公共交通サービスが行き届いていない地区において、地域住民が主体となって検討する地域の実情に合った公共交通を導入し、生活必須施設が揃う拠点までの移動手段の確保をめざします。また、地域主体型交通の導入後においても、他の公共交通と連携しながら利用促進を図っていくとともに、運営の支援、効率的・効果的な運営・運行をするためのマニュアル作成などにより、地域の移動手段の維持・改善を図ります。	随時	地域団体 NPO法人 加西市 バス事業者 タクシー事業者
主要事業	②タクシー事業等との連携による移動手段の確保	タクシーやバス事業者等と連携することにより、地域主体型交通の運行や乗り合いタクシーの導入、タクシー利用助成事業との連携方法の検討など、利用促進に向けて事業を推進します。	随時	加西市 タクシー事業者 バス事業者
	③はっぴーバスの運行改善	市民意識や社会情勢の変化等に対応し、はっぴーバスの運行内容を見直し「フリー降車」の区間の拡充など、さらなる利便性向上を図ります。また、他の公共交通との整合を図るための運営・運行方法などを含めて、地域と協力してはっぴーバスを使いやすいものとしていきます。	必要に応じて 随時	加西市 地域団体 バス事業者

【重点事業】

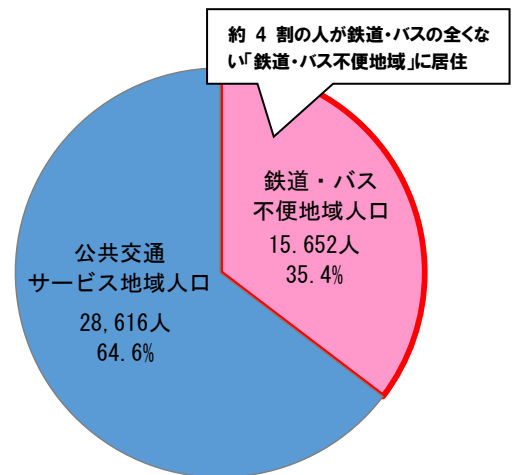
施策1：各地区最寄りの生活必須施設まで行きやすくする公共交通の整備

事業	①地域主体型交通の導入及び維持改善
実施主体	地域団体、NPO法人、加西市、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	随時
事業内容	<p>加西市では北条鉄道、路線バス、コミュニティバス等が運行されていますが、これら公共交通の運行本数が少ない、あるいは全く運行していない「鉄道・バス不便地域」が存在します。公共交通サービスが行き届いていない地区において、公共交通需要に対応するため、加西市が作成した「地域主体型交通導入の手引き」をもとに、地域住民が主体となって検討する地域の実情に合った公共交通を導入し、生活必須施設が揃う拠点までの移動手段の確保をめざします。また、地域主体型交通の導入後においても、他の公共交通と連携しながら利用促進を図っていくとともに、運営の支援、効率的・効果的な運営・運行をするためのマニュアル作成などにより、地域の移動手段の維持・改善を図ります。なお、地域主体型交通の導入にあたっては、北条鉄道・路線バス等の他の公共交通との役割分担を考慮した上で、運行方法を検討するものとします。</p>

＜ 地域主体型交通導入検討フロー ＞



＜ 鉄道・バスサービス人口の構成 ＞



※) 2015 (H27) 年国勢調査結果の人口メッシュデータにより集計



※) 2022 (R4) 年度に改訂予定
出典) 「地域主体型交通導入の手引き (2016 [H28] 年3月)」をもとに一部加筆

【主要事業】

施策1：各地区最寄りの生活必須施設まで行きやすくする公共交通の整備

事業	②タクシー事業等との連携による移動手段の確保
実施主体	加西市、タクシー事業者、バス事業者
実施時期	随時
事業内容	地域内のきめ細やかな移動需要に対応できるタクシーやバス事業の交通事業者等との連携を目的として、「事業者協力型 自家用有償旅客運送」などの制度も活用しながらタクシー事業者での地域主体型交通の運行や乗り合いタクシー（オンデマンド交通など）の導入・運行、現在実施しているタクシー利用助成事業との連携方法の検討など、タクシー利用促進に向けた事業を推進していきます。

＜ 事業者協力型 自家用有償旅客運送の概要 ＞

4. 事業者協力型 自家用有償旅客運送

- ・ 道路運送法の改正により、令和2年11月から、運行管理や車両の整備管理について一般旅客自動車運送事業者（バス・タクシー事業者）が協力する「事業者協力型自家用有償旅客運送制度」が創設されました。
- ・ 持続可能な移動手段確保のため、輸送の安全確保にノウハウのあるバス・タクシー事業者の協力を得て自家用有償旅客運送を導入することも検討しましょう。

(制度創設の趣旨)

「協力型」の制度化により、両者にメリットのある拠地点を提案し、合意形成を容易化

(制度のイメージ図)

(協力の形態)

- ⇒ 交通事業者が運行管理、車両整備管理の委託を受ける。
- ⇒ 交通事業者がNPO等の構成員として参画し、運行管理、車両整備管理を担当する。

出典)「自家用有償旅客運送ハンドブック」より

＜ 現行のタクシー利用者への助成について ＞

事業名	高齢者外出支援事業（支援タクシー）
実施主体	社会福祉法人 加西市社会福祉協議会
対象	75歳以上のひとり暮らしの高齢者又は高齢者夫婦世帯
内容	タクシー利用料金の一部（初乗り分）の助成
事業名	高齢者運転免許証自主返納事業
実施主体	加西市
対象	次の要件を全て満たす方 ①自主返納時に65歳以上の方 ②加西市に住民票がある方 ③自動車運転免許証を自主返納後1年以内の方
内容	中型タクシー基本料金相当額のタクシー券48枚を交付

基本方針Ⅰ：みんなが利用しやすい公共交通網の構築

施策2

中心拠点へ行きやすくする公共交通の整備

■現状・課題

- 加西市民や公共交通の主な利用者である高齢者がよく行く先は、商業施設や医療施設などが集積している中心拠点（北条地区）となっていることから、公共交通で都市核へ行きやすくすることが必要です。
- その中で、高齢者・障がい者や学生などは、クルマを気軽に利用できない方が多いことから主に送迎に頼っており、その送迎者の負担は決して軽視できない状況となっています。
- 生活必須施設が集積する都市核への移動手段としては、既存の枠組みの中での公共交通の他、病院送迎バスや教習所送迎バスなどの地域資源を有効に活用していく必要があります。
- 今後も市民意識や社会情勢の変化等に対応して、公共交通の運行改善に努めます。

■めざす姿

- 市民や高齢者の移動需要に対応して、商業施設や医療施設などが集積している中心拠点へ公共交通で行きやすいまちをめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

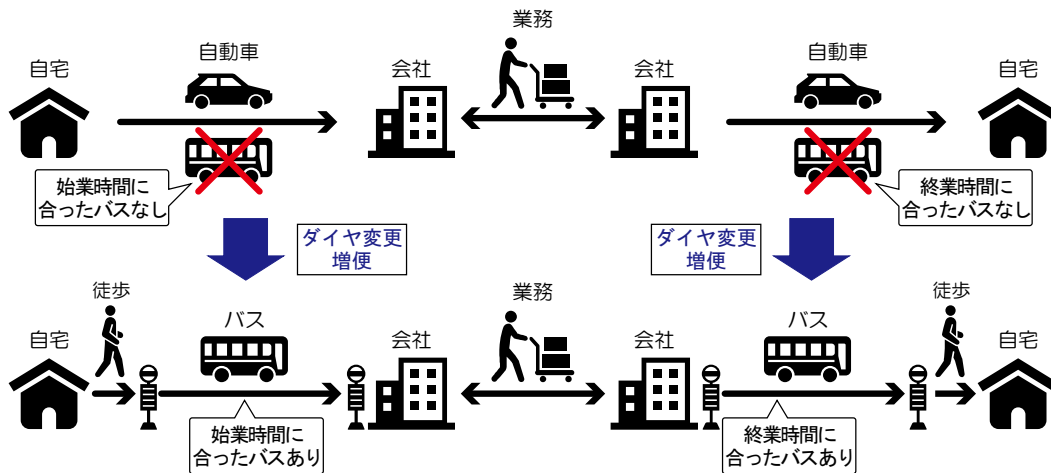
分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
重点事業	④企業等の連携や社会情勢の変化に対応したバス・鉄道等の利用環境改善	沿線企業で働く方の移動手段確保・移動利便性の向上を図るために、就業時間に合わせて公共交通のダイヤ設定や増便を行います。また、将来的な事業計画を見据えたコミュニティバス等の再編を推進します。	随時	加西市 沿線企業 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
重点事業	⑤送迎負担の軽減に向けた取組推進	子供や高齢者・障がい者などの送迎による送迎者の負担の軽減を目的として、送迎実態の把握や課題を抽出した上で、適切な取組の実施を検討します。	2023（R5）年度～	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
	⑥地域輸送資源の総動員による効率的な移動手段確保	地域で既に運行されている公共交通以外の輸送資源を、運営・運行者と協議を行った上で有効活用し、総動員による移動手段の確保をめざします。	随時	加西市 沿線企業 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者

【重点事業】

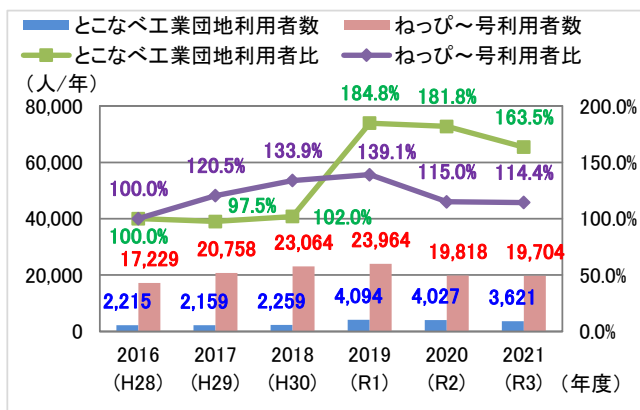
施策2：中心拠点へ行きやすくする公共交通の整備

事業	④企業等の連携や社会情勢の変化に対応したバス・鉄道等の利用環境改善
実施主体	加西市、沿線企業、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	随時
事業内容	沿線企業で働く人の移動手段の確保や移動利便性の向上、加えて公共交通の利用促進を目的として、就業時間に合わせた公共交通のダイヤ設定や増便を推進します。また、「(仮称)道の駅加西」や「加西インター産業団地」の将来的な整備・供用を見据えて、コミュニティバス等の再編を推進します。さらには、ねっぴ〜号国正線と宇にふれあいバス国正線のバス路線の重複など効率的・効果的なバス運行を行うための役割分担を明確化していきます。

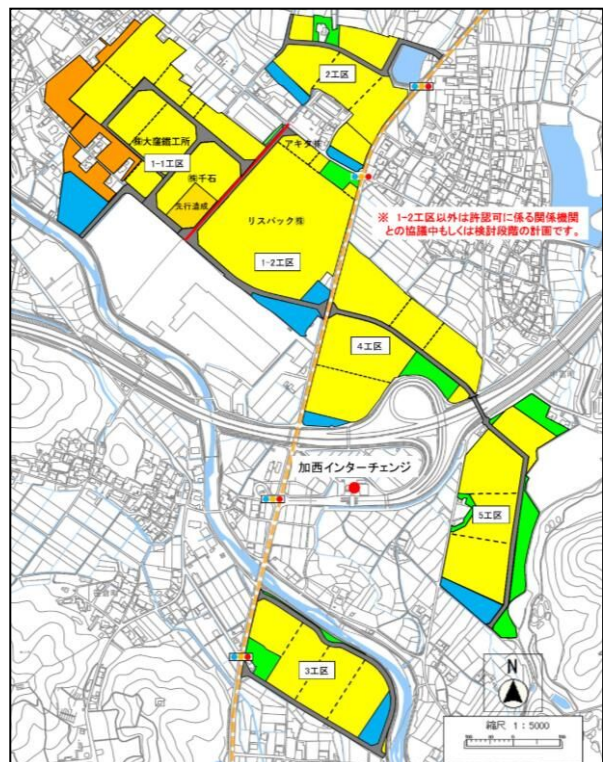
＜ 就業時間に合わせたダイヤ設定のイメージ ＞



＜ とこなべ工業団地バス停及びねっぴ〜号 全体における利用者数の推移 ＞



＜ 加西インター産業団地 ＞



＜ (仮称)道の駅加西整備イメージ ＞



出典) 加西市所管データ

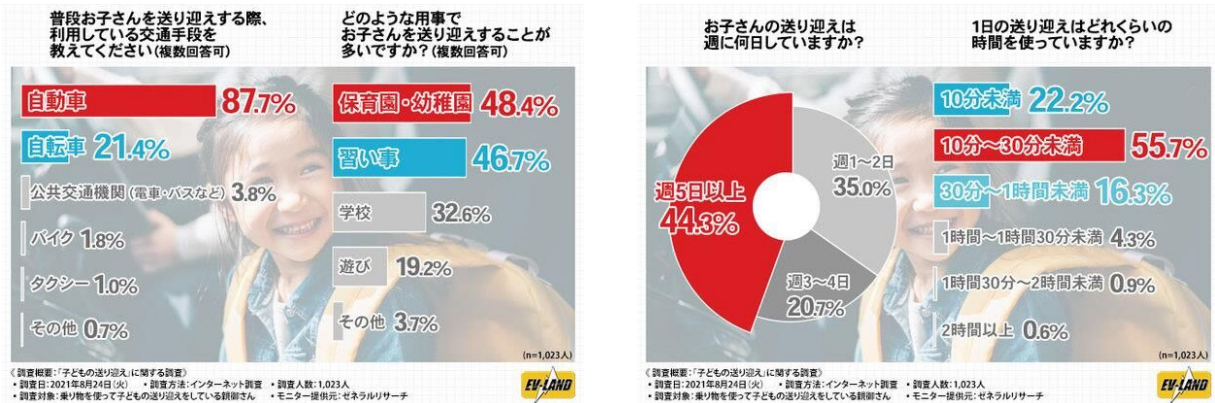
出典) 加西市所管データ

【重点事業】

施策2：中心拠点へ行きやすくする公共交通の整備

事業	⑤送迎負担の軽減に向けた取組推進
実施主体	加西市、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	2023（R5）年度～
事業内容	自動車運転免許証を持っていない子供や自動車運転免許証を返納した、もしくは身体的な理由等により気軽にクルマを運転できない高齢者・障がい者などは、主に家族や知人等により送迎をされていると想定されます。これら送迎による送迎者の負担の軽減を目的として、送迎実態の把握や課題を抽出した上で、適切な取組の実施を検討します。

＜ 子供の送り迎えに関する調査事例 ＞

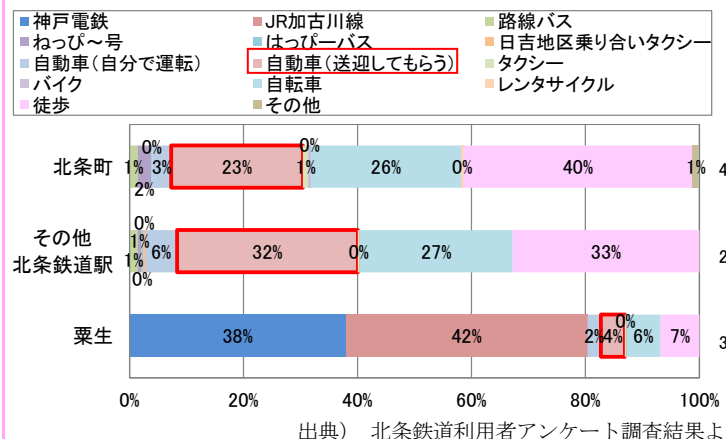


＜ 移動先マッチングアプリによる相乗りサービスのイメージ ＞

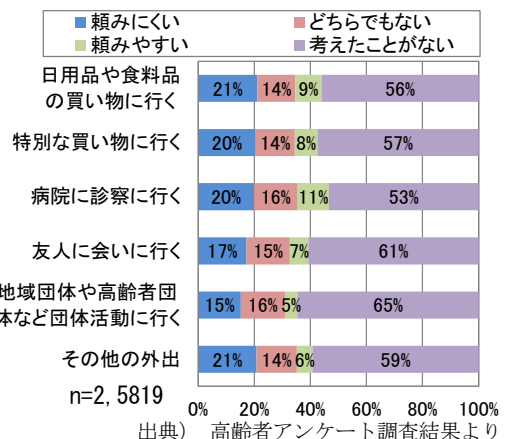


出典) 国土交通省 HP より

＜ 北条鉄道乗降前後の主な移動手段 ＞



＜ 送迎の頼みやすさ ＞



基本方針Ⅰ：みんなが利用しやすい公共交通網の構築

施策3	中心拠点内を周遊しやすくする公共交通の整備
------------	------------------------------

■現状・課題

- 中心拠点である北条地区では、市民は通院や買物などで複数の施設を移動することが考えられます。また、市外から北条鉄道や路線バスなどで来訪する方は、北条町駅から目的施設までの移動手段を確保する必要があります。これらの移動需要に対応するために、コミュニティバスねっぴ〜号の市街地線が運行されています。
- 市街地線の利用者数については、2015（H27）年度までは減少傾向にあったものの、2015（H27）年度以降に実施したコミュニティバス等再編や料金施策などにより、2019（R1）年度までは利用者数が増加していました。しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、2020（R2）年度以降は利用者数が減少している状況となっています。
- 市街地線は中心拠点の主要施設間を周遊しており、市内各地区や市外から来訪する方にとって必要不可欠な移動手段となっています。このため、市民や来訪者の移動需要や社会情勢の変化に対応して、さらなる利便性向上を図っていく必要があります。

■めざす姿

- 各機能が集積している中心拠点内での移動利便性をさらに向上させ、中心拠点内居住者のみならず、市内各地区や市外から中心拠点に来訪するすべての方にとって、行きたい時間に公共交通で目的地に行きやすい中心市街地をめざします。

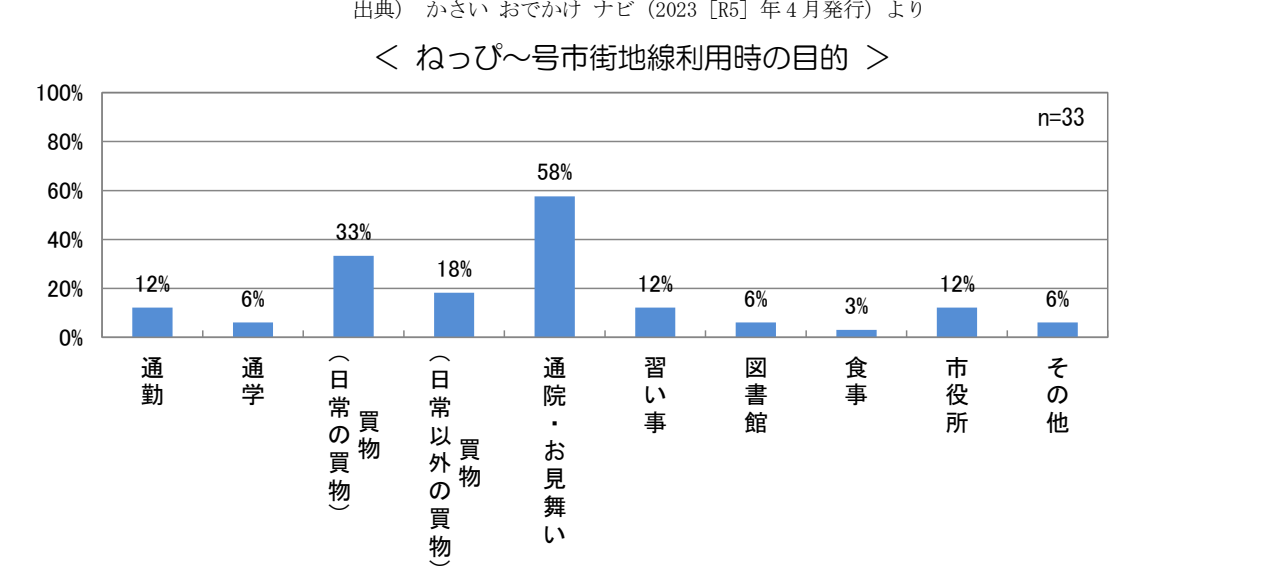
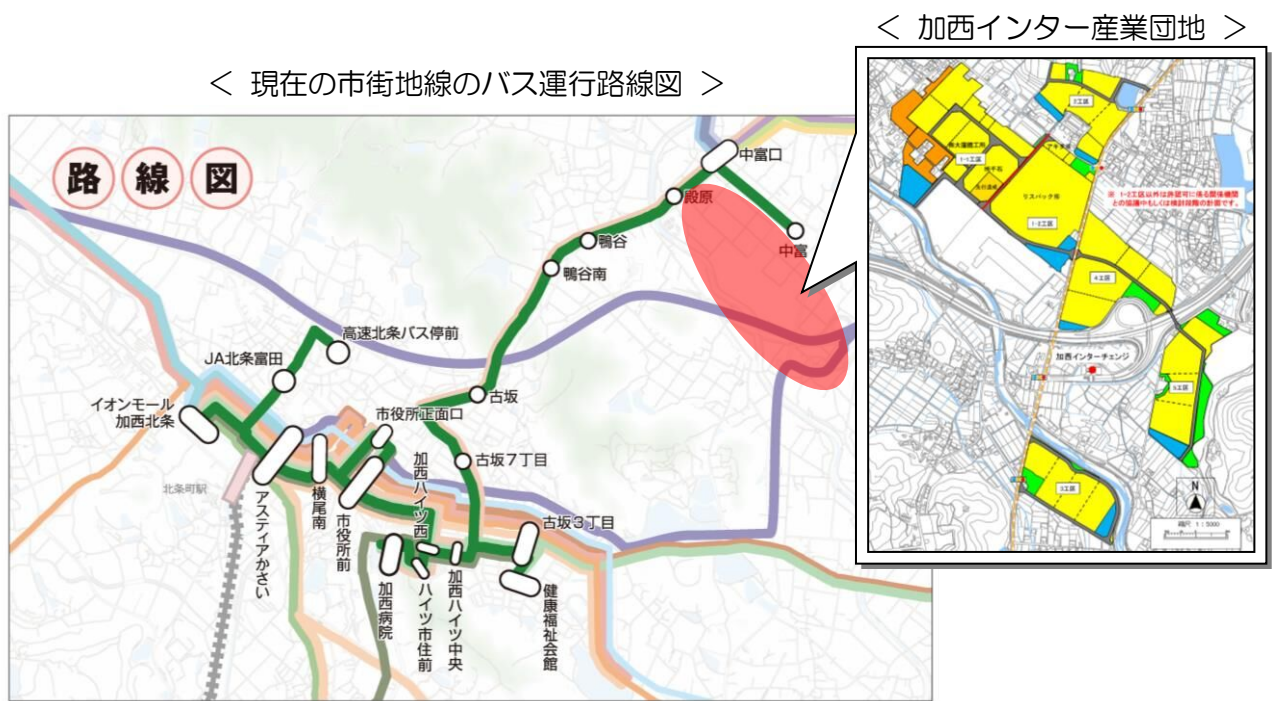
■めざす姿の実現に向けた事業

分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
主要事業	⑦市街地線の機能強化	現在運行されているバス路線を効率的に役割分担しながら活用します。買物や通院など利用者の移動需要や社会情勢の変化に対応しながら、運行路線や運行ダイヤの見直しを行います。また、泉地区においては、加西インター産業団地の整備事業を踏まえて、通勤需要に応じた増便を行うなど、随時コミュニティバス等の運行改善に努めます。	随時	加西市 バス事業者

【主要事業】

施策3：中心拠点内を周遊しやすくする公共交通の整備

事業	⑦市街地線の機能強化
実施主体	加西市、バス事業者
実施時期	随時
事業内容	<p>北条地区の市街地においては、路線バスやコミュニティバスの路線が複数運行されていることから、市街地内の運行本数は多く便利な状況となっています。現在運行されているこれらの路線を効率的に役割分担しながら活用し、買物や通院など利用者の移動需要や社会情勢の変化に対応しながら、北条鉄道とのパターンダイヤの検討や、市街地内の集客施設等の需要に応じた再編などを主とした運行路線や運行ダイヤの見直しを行います。</p> <p>また、泉地区においては加西インター産業団地の整備事業が進行していることも踏まえて、通勤需要に応じた増便等の運行改善に努めます。</p>



基本方針Ⅰ：みんなが利用しやすい公共交通網の構築

施策4	市外との連携を強化する公共交通の整備
------------	---------------------------

■現状・課題

- 公共交通を利用して市外に行く市民は、主に通勤や通学での移動であり、特に通学目的で公共交通を利用して市外へと移動している人が多くなっています。また、市外からの来訪者は、近年増加傾向となっており、これらを踏まえると公共交通は加西市に関わる人にとって、必要性の高い移動手段と言えます。
- 市外へ行きやすくする、又は市外から来訪しやすくするという役割は、市外連携軸が担うこととなりますが、対応する現在の公共交通機関は、北条鉄道、高速バス、路線バス、タクシーとなります。
- 路線バスの乗降者数については、2017（H29）年度までは増加傾向にあり、近年は新型コロナウイルス感染症の影響で減少傾向が続いていましたが、2021（R3）年度は若干ながら利用者数は増加しています。一方で、北条鉄道においては、2020（R2）年度は新型コロナウイルス感染症対策などによって前年までと比べ大きく利用者数が減少しましたが、法華口駅行き違い交差設備整備や各種イベントなどの取組により、2021（R3）年度においては、新型コロナウイルス感染症が蔓延する以前の利用者数程度まで利用者数が回復しています。
- 加西市と近隣市町との連携を強化させるためにも、公共交通の果たす役割は重要です。

■めざす姿

- 加西市民が市外へ公共交通で行きやすくすることにより、定住促進を図るとともに、市外からも公共交通で来訪しやすくすることにより、交流人口の増加をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
主要事業	⑧鉄道輸送力を活用した利便性の向上	法華口駅行き違い交差設備や新車両（キハ40）などの資源を有効活用して、運行本数の増加や他の公共交通との連携を進めることで、さらなる利用促進を図ります。	2023（R5）年度～	鉄道事業者 加西市
	⑨社会の変化に応じた路線バスの運行改善	市民意識や社会情勢の変化等に対応するために、施設立地状況や現状の利用状況などを踏まえて、路線バスの運行時間の見直しなど、路線バスの運行改善に努めます。	随時	バス事業者 加西市
	⑩他市町と連携した公共交通の利便性向上	北播磨広域定住自立圏や播磨圏域連携中枢都市圏など近隣市町と連携し、適切なバスサービスの提供、運行時間やルートの見直し等により、利便性の向上を図ります。	随時	加西市 隣接市町 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者

【主要事業】

施策4：市外との連携を強化する公共交通の整備

事業	⑧鉄道輸送力を活用した利便性の向上
実施主体	鉄道事業者、加西市
実施時期	2023（R5）年度～
事業内容	2020（R2）年9月より法華口駅行き違い交差設備の整備による増便や様々な利用促進の取組などにより、昨今のコロナ禍においても利用者数は近年増加しています。今後は、北条鉄道利用者アンケート調査結果から得られた問題点や北条鉄道の魅力、今後進めてほしい方策などの市民や利用者意識等に対応し、魅力ある車窓風景を活かしながら、運行本数の増加や他の公共交通とも連携することで、さらなる利用促進を図ります。

＜ 法華口駅行き違い交差設備の概要 ＞

北条鉄道がさらに便利に！
法華口駅 列車行き違い交差設備完成
 北条鉄道株式会社

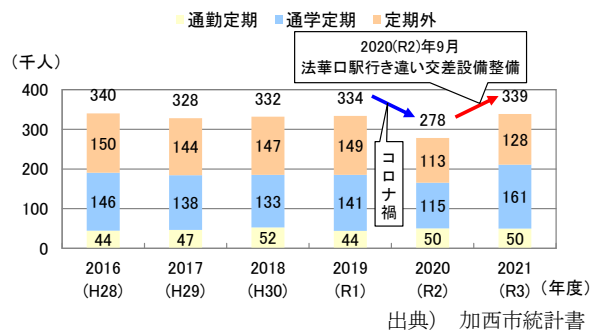
2020年9月1日(火)運行
 平日ラッシュ時朝3往復・夜2往復増便！

出典) 北条鉄道 HP より

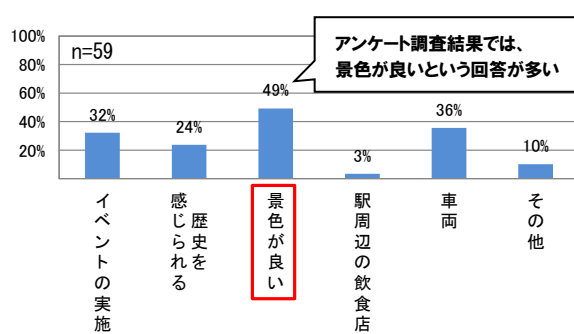
■増便概要(平日のみ) ※2022（R4）年3月時点

北条町駅発	【朝】6:07、7:12、8:24	【夜】18:13
粟生駅発	【朝】6:40、7:46、8:52	【夜】18:55

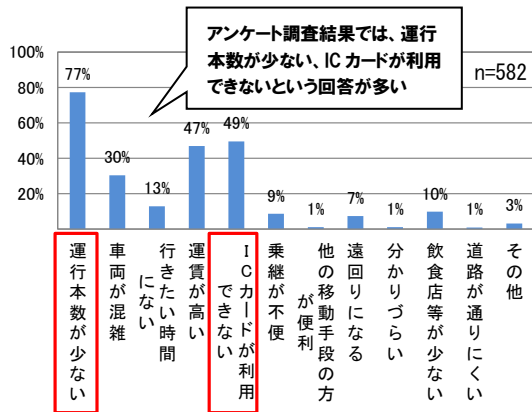
＜ 鉄道乗車人員の推移 ＞



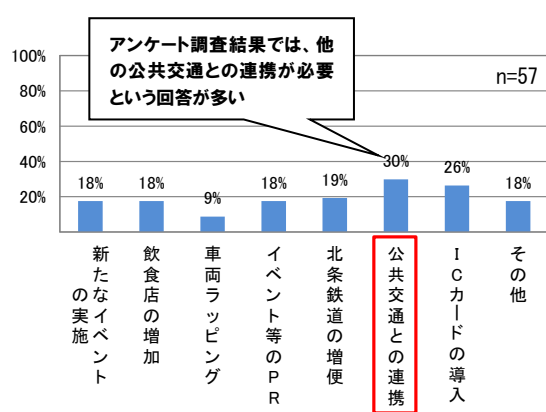
＜ 北条鉄道の魅力 ＞



＜ 北条鉄道利用時の問題点 ＞



＜ 北条鉄道魅力向上のための方策 ＞



※1) 北条鉄道に乗ること（見ること）を目的とされている方の回答を集計
 ※2) 平日・休日2日間の全回答者の調査結果を示す
 出典) 北条鉄道利用者アンケート調査結果より

基本方針Ⅰ：みんなが利用しやすい公共交通網の構築

施策5	利用しやすい公共交通網の確保・維持
-----	-------------------

■現状・課題

- 加西市の公共交通としては、2023（令和5）年3月時点において鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス（ねっぴ〜号・はっぴーバス）、地域主体型交通（宇仁ふれあいバス・日吉地区乗り合いタクシー）、タクシーがあります。
- 公共交通は、クルマでの移動が困難な高齢者・障がい者や学生等、移動手段を持たない人の日常の移動手段確保としての対応が求められます。
- これらの方々が自立的に生活できる環境整備のひとつとして、公共交通により移動手段を確保することによって、外出機会の創出や健康寿命の増加、地域活性化への寄与も期待されます。

■めざす姿

- 日常生活の移動手段の確保・維持のために、市民一人ひとりが利用したいと感じ、また、安全・安心に利用できるような公共交通をめざします。
- 公共交通の確保・維持に向けては、市民・行政・交通事業者の役割分担や各公共交通の役割分担を行いながら全体的に連携強化を図り、「地域公共交通確保維持事業」などの行政支援も受けながら、誰もが利用しやすい公共交通サービスを提供していきます。

■めざす姿の実現に向けた事業

分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
重点 事業	⑪公共交通サービスを確保・維持するための行政支援	路線バス及びコミュニティバス等の相互の棲み分けや連携を図りながら、持続可能な公共交通とするために交通事業者と協議を行い、地域公共交通確保維持事業や社会資本整備総合交付金などの行政からの支援も受けながら利用しやすい公共交通サービスを確保・維持し続けます。	随時	加西市 市民 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者

【重点事業】

施策5：利用しやすい公共交通網の確保・維持



事業	①公共交通サービスを確保・維持するための行政支援
実施主体	加西市、市民、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	随時
事業内容	<p>地域間を移動する手段となる路線バス（地域間幹線系統）や、生活交通として必要不可欠であるコミュニティバス等（地域内フィーダー系統）の役割分担を図りながら、路線バス及びコミュニティバス等の相互の連携を図ります。</p> <p>また、持続可能な公共交通とするために交通事業者と協議を行い、地域公共交通確保維持事業や社会資本整備総合交付金などの行政からの支援も受けながら利用しやすい公共交通サービスを確保・維持し続けます。</p>



＜ 路線バス・コミュニティバス等の確保・維持に向けた国の支援制度（地域公共交通確保維持事業） ＞

地域公共交通確保維持事業
(地域の実情に応じた生活交通の確保維持)

＜支援の内容＞

- 高齢化が進む過疎地域等の足を確保するための幹線バス交通や地域内交通の運行
 - ・地域間交通ネットワークを形成する幹線バス交通の運行や車両購入、貨客混載の導入を支援
 - ・過疎地域等において、コミュニティバス、デマンドタクシー、自家用有償旅客運送等の地域内交通の運行や車両購入、貨客混載の導入を支援
- 離島航路・航空路の運航
 - ・離島住民の日常生活に不可欠な交通手段である離島航路・航空路の運航等を支援

	通常の支援内容
<p>路線バス・コミュニティバス等の運行</p> <p>【地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域間幹線系統補助・地域内フィーダー系統補助）】</p>	<p>対象系統</p> <p>【地域間幹線系統】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 複数市町村にまたがるもの ② 1日当たりの計画運行回数が3回以上のもの ③ 輸送量が15人～150人/日と見込まれるもの <p>【地域内フィーダー系統】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 政令市、中核市、特別区以外において補助対象地域間幹線バス系統を補完するもの又は交通不便地域における移動手段の確保を目的としたもの ② 新たに運行を開始するなどの新規性があるもの <p>【共通】</p> <p>車両減価償却費等補助又は公有民営補助（補助率：1/2）</p>

出典）国土交通省HPより

＜ 加西市における公共交通の位置付け・役割 ＞

位置付け	対象	役割	確保・維持策
市外連携軸	北条鉄道、高速バス、路線バス、福崎町・加西市連携コミュニティバス、タクシー	市民が市外へ行きやすくするためだけでなく、市外からの来訪者も移動しやすくする、市内と市外を結ぶ公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保 ・地域公共交通確保維持事業（幹線補助）を活用し持続可能な運行をめざす
まちなか巡回軸	ねっぴ〜号（市街地線）、タクシー	北条のまちなかで通院や買物等の回遊をしやすくする、中心市街地を巡回できる公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者と連携した取組により一定以上の運行水準を確保 ・地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し持続可能な運行を目指す
市内連携軸	北条鉄道、ねっぴ〜号（国正線、九会線、フラワーセンター線、sora かい線）、路線バス、タクシー	市民の買物や通院等の外出をしやすくする、各地区から中心市街地である北条地区までを結ぶ公共交通	
地域内交通	はっぴーバス、地域主体型交通、タクシー	生活必須施設（買物、医療、金融）へ外出しやすくするような公共交通	

基本方針Ⅱ：利便性の高い公共交通結節点の整備

施策6	乗換環境の向上による結節機能の強化
------------	--------------------------

■現状・課題

- 加西市内のバス停は、バス停の標柱のみが設置されており、ベンチや雨よけが設置されていないバス停があります。しかし、場所や費用面での制約などがあり、全てのバス停にベンチ・雨よけを設置するのは困難です。
- また、アスティアかさいバス停や中富口バス停など、様々な公共交通が接続しているにも関わらず、交通機能が十分でないなど、今後整備が必要な余地が残っている状況です。
- 市外から、もしくは市外への移動にあたっては、市内に停車する高速バスとコミュニティバス等が連携した結節機能の向上が必要となり、一体的な移動サービスの提供を行うことが重要となります。

■めざす姿

- バス停の待ち合い環境を改善させることで、全ての方が安全・安心にバスを待てる環境を整えていくことで、質の高い交通結節点をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
重点事業	⑫需要に応じた交通結節点の整備	特に利用者が多いバス停について、優先的にベンチや雨よけを設置することや、様々な公共交通が接続するバス停においては、交通結節点としての機能を整備するなど、安心してバスを待てる環境を創出します。	随時	加西市 バス事業者
	⑬駅や高速バス停における結節機能の向上	北条鉄道や高速バスのバス停周辺にある駐車場・駐輪場を活用して、パーク&ライド施設の整備及び利用促進を行うとともに、駅・バス停から各地区に移動するためのシェアサイクル等の導入を検討します。また、高速バスとコミュニティバス等の接続強化に向けたバスの在り方についても検討を進めます。	2023（R5）年度～	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者

【重点事業】

施策6：乗換環境の向上による結節機能の強化

事業	⑫需要に応じた交通結節点の整備
実施主体	加西市、バス事業者
実施時期	随時
事業内容	公共交通の利用促進を目的として、コミュニティバス等の再編や北条鉄道法華口駅行き違い交差設備整備による増便、各種公共交通サービスの提供など、これまでに様々な取組を実施してきました。今後は、これらネットワーク整備に対応した交通結節点の整備が必要であると考えられることから、需要に応じたバス停へのベンチ・雨よけ・バスベイなどの整備を推進していくとともに、法華口駅や播磨横田駅、アスティアかさいバス停、中富口バス停、九会バス停などを中心とした交通の拠点となる施設の整備を推進します。

＜ バス停位置図 ＞

＜ 現在の中富口バス停 ＞



出典) 加西市所管データ

＜ 現在のアスティアかさいバス停 ＞



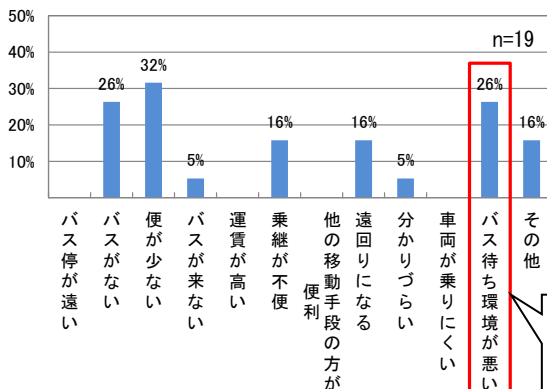
出典) 加西市所管データ

＜ 九会バス停のバスベイ ＞



出典) 加西市所管データ

＜ コミュニティバス等におけるバス利用時の問題点 ＞



コミュニティバス等利用者は「バス待ち環境が悪い」と回答した人が比較的多い

※) 「特になし」を除く
出典) コミュニティバス等利用者アンケート調査結果より

基本方針Ⅱ：利便性の高い公共交通結節点の整備

施策7	分かりやすい運行情報の提供
-----	---------------

■現状・課題

- 北条町駅やアスティアかさいなどの大型商業施設、公共施設などにおいては、鉄道・バスそれぞれの運行情報が一目でわかるようなシステムであるデジタルサイネージを順次設置しています。
- さらに利用しやすい公共交通とするためには、わかりやすい運行情報の提供が必要と考えられます。
- バスの運行においては、交通状況などにより遅延等が発生するため、バスの位置情報や遅延状況などを確認できるシステムの導入が必要と考えられます。
- 鉄道・バス事業者においては、今まで以上に公共交通機関が相互に連携し、運行ダイヤの変更や利用ニーズに対応した乗り継ぎダイヤの調整が必要です。
- 現在も総合時刻表やデジタルサイネージなどで運行情報や乗り継ぎ情報を提供していますが、さらなる利便性向上を図るためには、様々な場所で視覚的に分かりやすい情報提供が必要です。

■めざす姿

- 全ての方にとって利用しやすいように、引き続きわかりやすい運行情報の提供を行い、乗り継ぎなどの利用利便性の向上をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

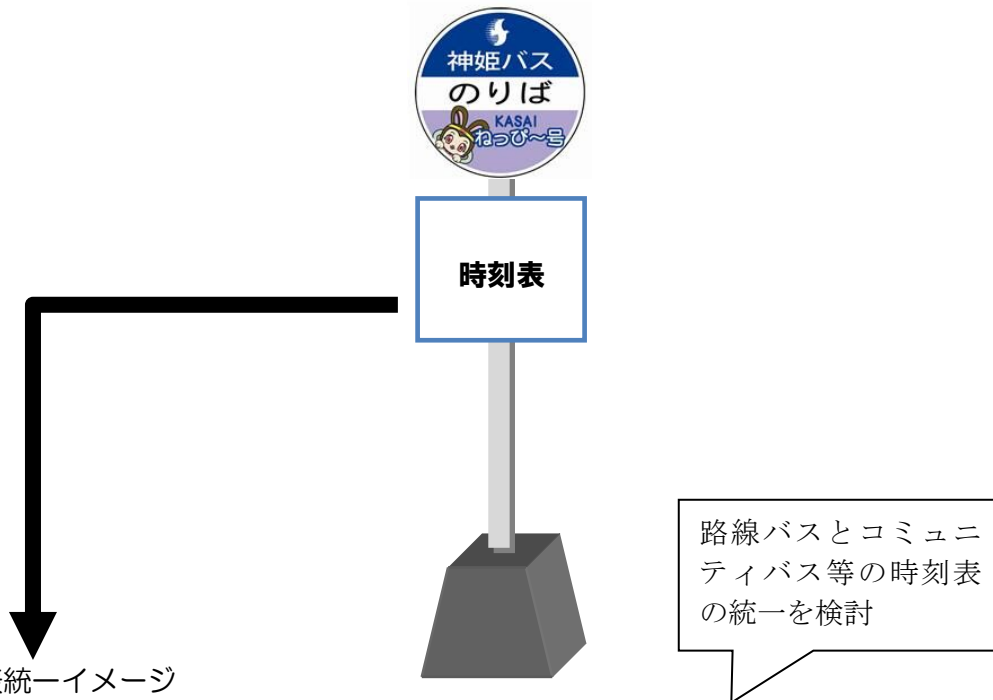
分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
主要事業	⑭コミュニティバス等及び路線バス時刻表の統一化	主要なバス停の路線バスやコミュニティバスのバス停標柱に掲示されている時刻表の統一を検討します。	2023（R5）年度～	加西市 NPO法人 バス事業者
主要事業	⑮デジタルサイネージ等によるバス・鉄道情報（運行情報等）の提供	鉄道、路線バス、コミュニティバス等の運行状況を一覧できる電子情報提供媒体（デジタルサイネージ）の設置を引き続き行い、さらなる利便性の向上を図ります。	随時	加西市 沿線施設等 鉄道事業者 バス事業者
主要事業	⑯コミュニティバス等におけるバスロケーションシステムの導入検討	はッピーバスや地域主体型交通において、GPSを用いてコミュニティバス等の位置情報を取得し、運行状況をバス停（デジタルサイネージ）などで確認できるシステムの導入を検討します。	2023（R5）年度より導入に向けて検討	加西市 NPO法人 バス事業者
	⑰公共交通機関相互の乗り換えに対応した運行ダイヤの調整	運行ダイヤが変更された際において、公共交通機関相互の乗り継ぎが円滑にできるように、引き続きダイヤの調整を行います。	随時	加西市 NPO法人 鉄道事業者 バス事業者

【主要事業】

施策7：分かりやすい運行情報の提供

事業	⑭コミュニティバス等及び路線バス時刻表の統一化
実施主体	加西市、NPO法人、バス事業者
実施時期	2023（R5）年度～
事業内容	来訪された方や初めてバスを利用される人にとって分かりやすいバス停とするために、特に市街地区間において、主要なバス停の路線バスやコミュニティバス等のバス停標柱に掲示されている時刻表の統一を検討します。

＜ 路線バスとコミュニティバス等の時刻表統一イメージ ＞



※ 時刻表統一イメージ

＜ アスティアかさいの時刻表統一イメージ（加西病院・健康福祉会館・玉丘史跡公園方面） ＞

路線名	料金		姫路北条	高砂北条	九会線	市街地線	姫路北条	市街地線	姫路北条	市街地線	姫路北条
	路線バス	ねっぴ〜号									
アスティアかさい	—	—	7:47	7:55	8:00	8:20	8:36	8:55	9:14	9:20	9:54
市役所正面口	—	170円	↓	↓	8:04	8:24	↓	8:59	↓	9:24	↓
市役所前	170円	—	7:54	7:59	—	↓	8:41	↓	9:20	↓	9:59
加西病院	—	170円	↓	↓	8:08	8:28	↓	9:03	↓	9:28	↓
健康福祉会館	—	210円	↓	↓	—	8:33	↓	9:08	↓	9:33	↓
玉丘史跡公園	210円	—	7:57	8:02	↓	↓	8:44	↓	9:23	↓	10:02
行先	—	—	北条営業所	北条営業所	soraかさい	中富	北条営業所	中富	北条営業所	健康福祉	北条営業所

＜ 加西市内バス無料乗車券 ＞

対象路線・区間

KASAIねっぴ〜号(全線)、はっぴーバス(全線)、神姫バス八千代北条線、姫路北条線、社北条線、宝殿北条線、姫路社線の加西市内の乗り降りにかかる区間

対象となる方

- 75歳以上の方（後期高齢者医療被保険者証）
- 障がいをお持ちの方（障害者手帳）
- 中学生（生徒手帳）
- 小学生以下の子ども（身分証不要）
- 妊娠中の方（母子手帳）
- 乳幼児同伴の保護者（身分証不要）
- 運転免許返納者（運転経歴証明書）

配布場所

- 市役所
- 健康福祉会館
- 地域交流センター
- 各公民館（善防・南部・北部）
- 市民会館
- 加西病院
- 観光案内所（北条駅駅）
- KASAIねっぴ〜号車内
- はっぴーバス車内
- NPO法人原始人の会

出典) かさい おでかけ ナビ (2023 [R5] 年4月発行) をもとに加筆

【主要事業】

施策7：分かりやすい運行情報の提供

事業	⑮デジタルサイネージ等によるバス・鉄道情報(運行情報等)の提供
実施主体	加西市、沿線施設等、鉄道事業者、バス事業者
実施時期	随時
事業内容	2021 (R3) 年度より、市内の主要な施設等において、現在の北条鉄道・バスの運行状況を一覧できる電子情報提供媒体(デジタルサイネージ)を導入しています。今後は、需要に応じて主要施設等を中心に順次デジタルサイネージの設置を進めていきます。

< 現在のデジタルサイネージ設置箇所 >



- 凡例
- 公共施設
 - 医療施設
 - 商業施設
 - バス路線
 - : KASAIねっぴ〜号
 - : 神姫バス
 - : 福島町・加西市連携コミュニティバス

出典) 加西市所管データ

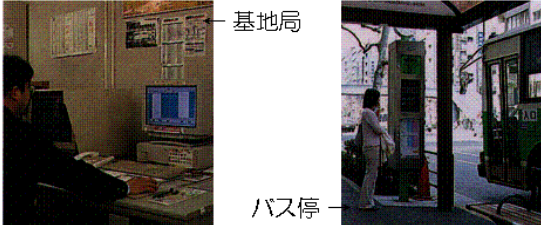
【主要事業】

施策7：分かりやすい運行情報の提供

事業	⑩コミュニティバス等におけるバスロケーションシステムの導入検討
実施主体	加西市、NPO法人、バス事業者
実施時期	2023（R5）年度より導入に向けて検討
事業内容	ねっぴ〜号では、2021（R3）年度よりGPSを用いてバスの現在の位置が検索できるシステム（バスロケーションシステム）を導入しており、デジタルサイネージにリアルタイムで情報を発信しています。また、2022（R4）年10月よりねっぴ〜号の接近情報サービスである「#らっきゃ」の運用を開始しています。今後は、デジタルサイネージにより一体的に情報発信するために、バスロケーションシステムをはっぴーバスや地域主体型交通に導入することを検討します。

＜バスロケーションシステムの概要＞

バスロケーションシステム



基地局
バス停

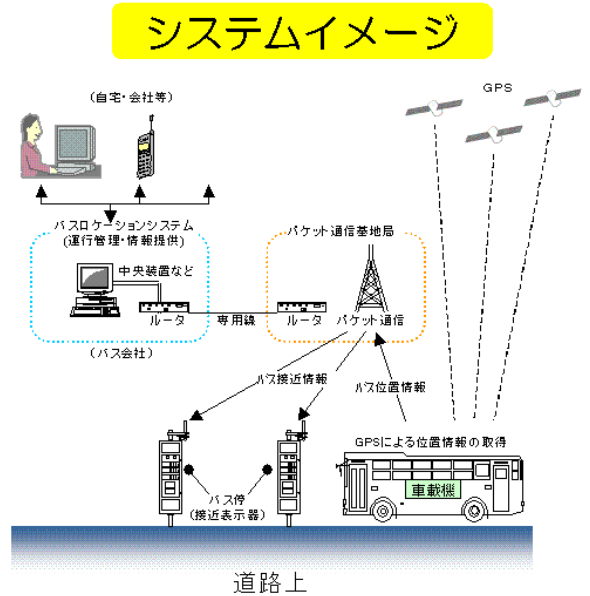
・基地局とバスとの無線通信

＜機能＞

- ・バス運行状況監視
- ・バス停やパソコン、携帯電話等での接近表示

＜効果＞

- ・運行管理の効率化
- ・利用者サービスの向上



出典) 国土交通省 HP より

＜ねっぴ〜号接近情報サービス「#らっきゃ」＞

KASAI ねっぴ〜号 接近情報サービス

#らっきゃ

これ見たららっきゃ！待たずにらっきゃ！どこでもらっきゃ！



今どこ？
いつ来る？

が読み取りひとつで解決！



無料でつかえます
加西市人口増政策課 0790-42-8700

出典) 加西市所管データ

基本方針Ⅲ：地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進

施策8	利用しやすい料金体系の構築
------------	----------------------

■現状・課題

- 加西市では、高齢者人口が増加しているなかで、2017（H29）年3月に道路交通法が一部改正されたことや、2020（R2）年3月には一定の違反歴がある75歳以上のドライバーに「運転技能検査（実車試験）」が義務づけられるなど、高齢者による交通事故を防止するための対策が強化されたことなどにより、今後一層、自動車運転免許証を返納される人が増加していくことが予想されます。
- 市民のクルマへの依存度が高く、公共交通が移動手段の選択肢に拳がりにくい状況となっているため、割引制度等の拡充により、公共交通への利用転換を推進する必要があります。

■めざす姿

- 新たな割引制度の導入や既存の割引制度の拡充を行い、利用しやすい料金体系を構築することで、鉄道・バスサービスの強化をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
	⑱高齢者や子育て世帯等に対する運賃割引	現在実施している加西市内バス利用料金が無料となる無料乗車券について、さらなる周知を行い、利用促進を図ります。また、高齢者や子育て世帯以外の人を対象とした運賃割引のサブスクリプション（定期購入）などの導入に向けた検討を進めます。	継続実施	加西市 バス事業者
	⑲免許返納者や乗り継ぎ利用者等に対する割引制度拡充に向けた検討	自動車運転免許証を返納された人や公共交通機関相互を乗り継ぎされる人などの利用者増加を図るために、各交通事業者等と連携・協議を行った上で、割引制度の拡充を検討します。	随時	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者

基本方針Ⅲ：地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進

施策9

積極的な公共交通情報の発信

■現状・課題

- 加西市では、市内の公共交通機関の全ての運行ダイヤ等を取りまとめた「かさい おでかけ ナビ」を毎年全戸に配布しています。
- 「かさい おでかけ ナビ」は加西市のホームページで掲載していますが、その他にも様々な媒体を用いて鉄道・バス・タクシー運行情報等の周知が必要です。
- 商業施設や医療施設等の集客施設において、公共交通情報の発信が少ない施設が多く残されています。
- 全ての人に公共交通を利用していただくためには、行政や事業者側から積極的に情報発信を行っていく必要があります。

■めざす姿

- 公共交通の運行情報などを積極的に発信していくことで、利用機会の増加や新たな利用創出をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

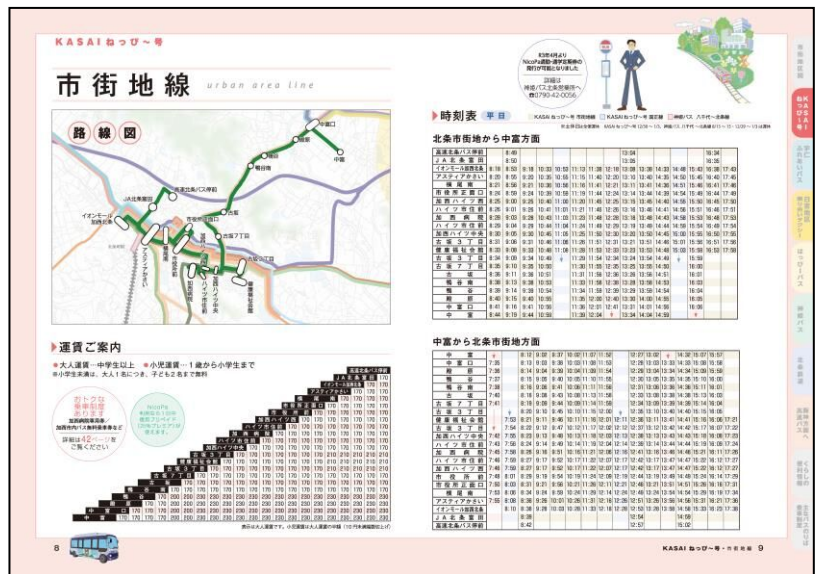
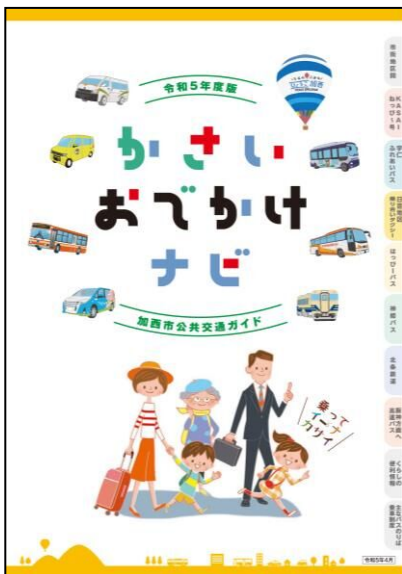
分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
主要事業	⑳公共交通情報を総合的に発信	「かさい おでかけ ナビ」の継続発行による情報発信を行うことで、公共交通の利用促進を図ります。また、市内に数多く運行している公共交通をさらに円滑に利用できるように、「MaaS（マース）」をはじめとした情報技術の向上に対応して総合的に情報発信できる取組を検討します。	随時	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
	㉑広報誌・Webを活用した情報提供	広報誌やホームページ、SNSなどの媒体を活用し、公共交通に関する情報発信を行っていきます。	随時	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
	㉒市民や観光客が集う主要施設に公共交通情報の掲示	鉄道・バスの時刻表とタクシー会社の電話番号を示した情報を集客施設等に掲示し、利用者利便の向上を図ります。	随時	加西市 鉄道事業者 バス事業者 施設管理者
	㉓公共交通機関相互の運行情報の提供	公共交通機関それぞれの車内や駅ホームなどにおいて、乗り継ぎ先の運行情報の放送や運行ダイヤの掲示などを行い、円滑な乗り継ぎができるようにします。	随時	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者

【主要事業】

施策9：積極的な公共交通情報の発信

事業	⑳公共交通情報を総合的に発信
実施主体	加西市、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	随時
事業内容	<p>毎年更新して全戸配布を行っている「かさい おでかけ ナビ」について、継続的な発行を行うことにより、公共交通利用の促進を図ります。</p> <p>また、市内に数多く運行している公共交通をさらに円滑に利用できるように、「MaaS（マース）」をはじめとした情報技術の向上に対応して総合的に情報発信できる取組を検討します。</p>

< かさい おでかけ ナビ >



出典) かさい おでかけ ナビ (2023 [R5] 年4月発行) より

< 「MaaS」のイメージ >

○ MaaS(マース)とは…

MaaS (マース: Mobility as a Service) とは、地域住民や旅行者それぞれでの移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。



出典) 国土交通省 HP より

基本方針Ⅲ：地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進

施策10

利用しやすい公共交通の提供による利用意識の醸成

■現状・課題

- 北条鉄道は現金又は紙の定期券のみでの支払いとなっており、神戸電鉄やJR加古川線に乗り継ぐICカード利用者においては、利用しにくい状況となっています。また、定期券の購入は窓口販売のみとなっており、気軽に購入できない状況となっています。
- 加西市の外出支援施策としては、公共交通の他に運動ポイント事業（専用のアプリポイントを貯めて利用できる事業）があることから、この事業との連携による相乗効果が期待できます。
- バスの利用者数増加のためには、運賃の割引や乗り継ぎ利便性の向上も必要ですが、まずは一度利用してみることや、親しみやすく乗っていて楽しいと思えるような、取組が必要です。

■めざす姿

- 利用者の皆様が利用しやすく、さらには楽しめるような取組などを実施することで、新たな利用者の創出をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

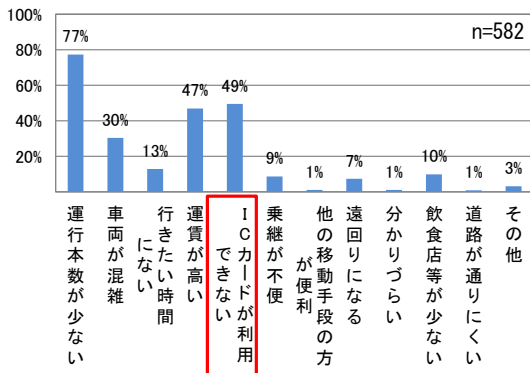
分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
重点事業	②4北条鉄道でのICカード導入、定期券ネット販売導入	ICOCAなどのICカードの導入や定期券のネット販売や定期券購入のキャッシュレス決済の導入を検討します。	2023（R5）年度より導入に向けて検討	鉄道事業者 加西市
	②5運動ポイント事業と連携した公共交通の利用促進	加西市で実施している運動ポイント事業による外出支援施策と、公共交通による外出支援施策は一体的に連携していく必要があると考えられるため、公共交通を利用するとポイント付与・増量するなど、双方にとって効果的な取組を検討します。	2023（R5）年度より実施に向けて検討	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
	②6公共交通無料お試し券の配布、車内絵画展の実施	公共交通の利用促進を図るために、お試し乗車券などの発行・配布を検討します。また、北条鉄道やコミュニティバス等の車内に、沿線地域の園児・児童を対象とした絵画を展示するなどのイベントを実施します。	2023（R5）年度より実施に向けて検討	加西市 鉄道事業者 バス事業者
重点事業	②7企業と連携した公共交通利用環境改善の推進	これまでに培ってきた公共交通事業に関する実績や調査結果をもとに、公共交通利用が増加している属性等を詳細に分析し、企業と連携した公共交通利用環境改善を推進することで、公共交通利用意識の醸成を図ります。	2023（R5）年度より実施	加西市 沿線企業 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者

【重点事業】

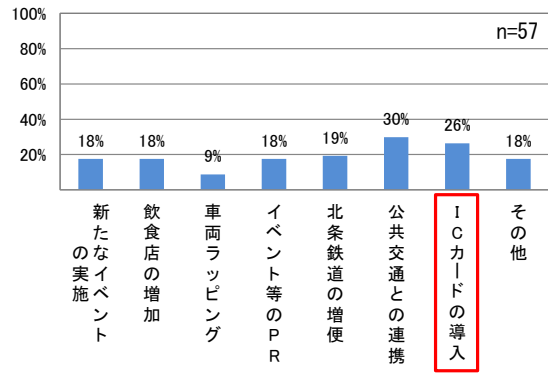
施策 10：利用しやすい公共交通の提供による利用意識の醸成

事業	⑭北条鉄道での IC カード導入、定期券ネット販売導入
実施主体	鉄道事業者、加西市
実施時期	2023（R5）年度より導入に向けて検討
事業内容	北条鉄道の利便性向上や利用促進を図るために、北条鉄道の接続路線である神戸電鉄や JR にも導入されている ICOCA や PiTaPa などの交通系 IC カードの導入や、定期券等のネット販売、クレジットカードや QR コード・バーコードなどによるキャッシュレス決済などの導入も検討します。

＜ 北条鉄道利用時の問題点 ＞



＜ 北条鉄道魅力向上のための方策 ＞



※1) 北条鉄道を移動手段として利用されている方の回答を集計
 ※2) 平日・休日 2 日間の全回答者の調査結果を示す
 出典) 北条鉄道利用者アンケート調査結果より

※1) 北条鉄道に乗ること（見ること）を目的とされている方の回答を集計
 ※2) 平日・休日 2 日間の全回答者の調査結果を示す
 出典) 北条鉄道利用者アンケート調査結果より

＜ 神戸電鉄や JR で利用できる主な交通系 IC カード ＞

・ICOCA



出典) おでかけネット HP より

・PiTaPa



出典) スルッと KANSAI HP より

＜ 定期券のネット販売事例 ＞

定期券をネットで申込むと、券売機での購入情報の入力が必要に！

インターネット定期券申込サービス
ネット定期

通勤定期券や通学定期券を新規購入する際は「ネット定期」のご利用がおすすめ！

パソコンやスマートフォンからの簡単操作で、事前にインターネットで申込みを完了しておくことで、JR東日本の駅の指定券売機またはJR東日本の駅のみどりの窓口で定期券をスピーディーに購入＆受取ることができます。定期券の運賃をお調べいただく目でもご利用可能です。この場合も「定期券申込メニュー」からお調べください。

- メリット① パソコンやスマートフォンから定期券を事前に申し込み！窓口にはばさず、駅の指定券売機で受取れる！
- メリット② 駅の券売機で購入情報の入力操作が不要に！
- メリット③ Suica定期はもちろん他の鉄道会社との連絡定期券も申込OK！

出典) JR 東日本 HP より

＜ キャッシュレス決済の例 ＞

QRコード決済



コンタクトレス決済



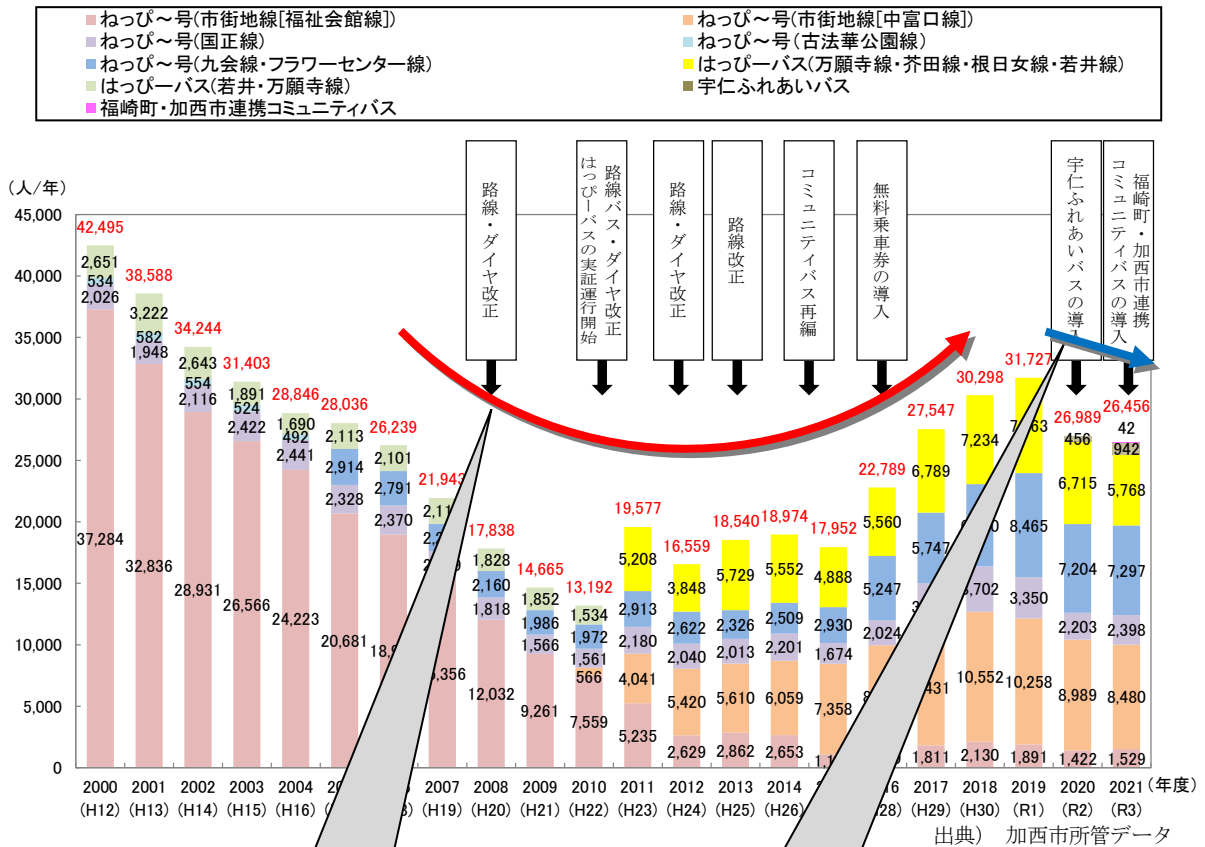
出典) 国土交通省 HP より

【重点事業】

施策 10：利用しやすい公共交通の提供による利用意識の醸成

事業	⑰企業と連携した公共交通利用環境改善の推進
実施主体	加西市、沿線企業、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	2023（R5）年度より実施
事業内容	<p>コミュニティバス等の利用のU字回復は、新たなバスや無料乗車券の導入等のサービス強化の効果が大きいですが、その他にも通勤目的の利用者増もあります。また、その傾向は路線バスの一部にも見受けられます。</p> <p>今後は、これまでに培ってきた公共交通事業に関する実績や調査結果をもとに、公共交通利用が増加している属性等を詳細に分析し、企業と連携した公共交通利用環境改善を推進することで、公共交通利用意識の醸成を図ります。</p>

＜ コミュニティバス等乗車人員の推移 ＞



コミュニティバス等の利用がU字回復した要因を詳細に分析
↓
さらなる利用増加をめざした政策を検討・実施

新型コロナウイルス感染症の影響によってどのような利用が減少したかを分析
↓
利用者回復に向けた政策を検討・実施

基本方針Ⅲ：地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進

施策11

公共交通に関心を抱いてもらう取組の推進

■現状・課題

- 加西市では、大半の人が移動手段としてクルマを利用されており、公共交通を移動手段として利用されている人は少ない状況となっています。
- 公共交通を持続可能な移動手段としていくのであれば、行政だけでは困難であり、市民や事業者、企業と連携をとりながら、必要に応じてサポートしていただく必要があります。
- 本計画で示した施策・事業を実施し、持続的に推進していくためには、まずは公共交通に関心を抱いていただく取組を実施する必要があります。

■めざす姿

- 行政と市民、事業者、企業と連携し、積極的に公共交通に関わることができる場づくりや公共交通を支援する取組を実施します。これにより公共交通を皆で支えあう体制を構築することで、関心を抱いてもらい利用したいと思っていただける公共交通をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
重点事業	⑳公共交通の必要性を考える場づくりの推進	公共交通について、より深く知ってもらい、関わっていただくために、「公共交通活性化協議会」や「ふるさと創造会議」参加委員をはじめ、できるだけ多くの市民の皆様と公共交通に関する意見交換、シンポジウム、かしい使い方の提案などができる場を作ります。	随時	加西市 市民 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
主要事業	㉑モビリティ・マネジメント等の実施	「モビリティ・マネジメント」やバスの体験乗車などを実施することで、公共交通をあまり利用していない人を対象とした公共交通の利用促進を図ります。また、鉄道・バスの定期券の販売促進を行うことにより、さらなる公共交通利用の増加を図ります。	2023（R5）年度より随時実施	加西市 企業・市民等 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
	㉒バス停サポーター制度の導入	各地区にあるバス停の維持管理を行政の支援のもと、市民の皆様自身が担当し、バス停周辺の清掃や施設の修理など、バス待ち環境の改善等を行っていただくことで、バス停周辺環境の維持・改善を図ります。	随時	加西市 地域団体 市民 バス事業者
主要事業	㉓ふるさと納税・クラウドファンディング等によるサポート体制の構築	公共交通の運行に対してふるさと納税やクラウドファンディングなどを活用したサポート体制を構築することで、持続可能な公共交通としていく取組を検討します。また、沿線企業等と連携し、バスの車内や時刻表、バス停の上屋などに企業広告を掲載することで、収益確保を図ります。	随時	加西市 企業等 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
	㉔オリジナルグッズの製作・販売による収益の確保	北条鉄道のオンラインショップなどで販売しているオリジナルグッズの販売促進やグッズの製作を行うことで、北条鉄道の収益の一部を確保していきます。	随時	鉄道事業者

【重点事業】

施策 11：公共交通に関心を抱いてもらう取組の推進

事業	㊸公共交通の必要性を考える場づくりの推進
実施主体	加西市、市民、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	随時
事業内容	<p>公共交通を持続可能な交通手段としていくには、行政だけで方策を考えていくだけでなく、市民の皆様や交通事業者の意見も必要となります。公共交通について、より深く知ってもらうためには、市民の皆様にもワークショップや地域懇談会などに参加していただくことなどで、積極的な関わりを持っていただくことが必要となります。</p> <p>そのためにもまずは、既存の公共交通に係る会議である「公共交通活性化協議会」や「ふるさと創造会議」の参加委員をはじめ、できるだけ多くの市民の皆様と公共交通に関する意見交換、シンポジウム、かしこい使い方の提案などができる場を作ります。</p> <p>また、これらの会議を活用して、鉄道やバスを運行している運転手や運営側と意見交換できる場を作ります。</p>

< ふるさと創造会議によるワークショップ >



出典) 加西市所管データ

< NPO 法人原始人会と地元小学生との公共交通学習の様子 >



出典) 加西市所管データ

【主要事業】

施策 11：公共交通に関心を抱いてもらう取組の推進

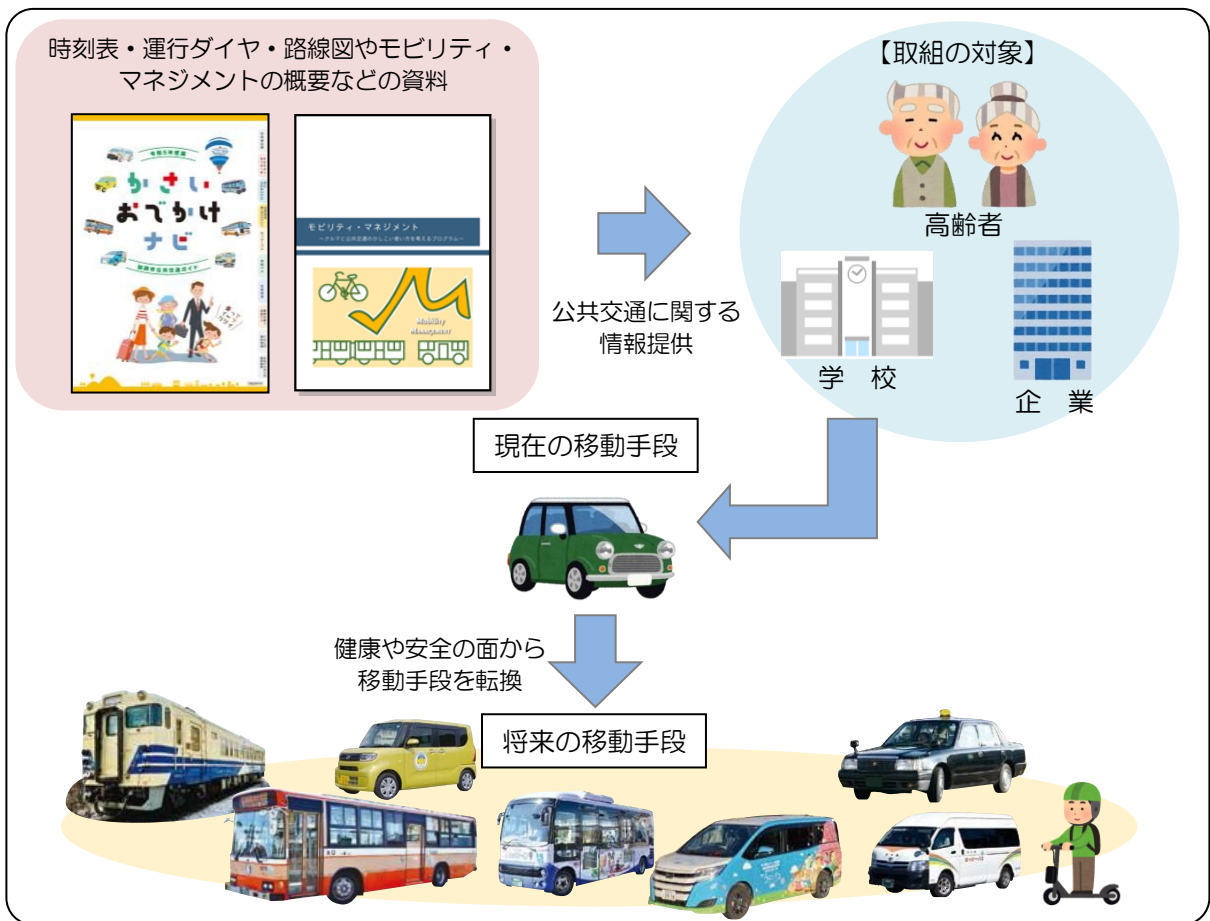
事業	㊸モビリティ・マネジメント等の実施
実施主体	加西市、企業・市民等、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	2023（R5）年度より随時実施
事業内容	地域主体型交通を導入している地域やシニアクラブの会合、企業・学校等に対して、公共交通利用を促進するための取組である「モビリティ・マネジメント」やバスの体験乗車などを実施することで、公共交通をあまり利用していない人を対象とした公共交通の利用促進を図ります。また、入社式や入学式など年度初めやオープンキャンパスや企業説明会などのタイミングにおいて、鉄道・バスの定期券の販売促進を行うことにより、さらなる公共交通利用の増加を図ります。

＜ モビリティ・マネジメントの意味 ＞

○ **モビリティ・マネジメント(MM)とは・・・**

環境や交通渋滞等の問題に対して、クルマ利用から公共交通等を適切に利用することを目的とし、個人それぞれのモビリティ（移動）を自発的に望ましい方向に転換することを促す、「対話（コミュニケーション）」による交通政策を言います。

＜ モビリティ・マネジメント（MM）の実施イメージ ＞



【主要事業】

施策 11：公共交通に関心を抱いてもらう取組の推進

事業	①ふるさと納税・クラウドファンディング等によるサポート体制の構築
実施主体	加西市、企業等、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	随時
事業内容	北条鉄道で実施している「枕木応援団」のように、公共交通の運営に対してふるさと納税やクラウドファンディング等を活用したサポート体制を構築することで、持続可能な公共交通としていく取組を検討します。また、公共交通の維持を図るためにバス車内や時刻表、バス停の上屋などに企業広告を掲載することによる収益確保を検討します。

< 枕木応援団の概要 >



北条鉄道を支える枕木の応援団員になってみませんか?

- 特典① 枕木にお名前またはメッセージ入りプレートを設置 (おもらったプレートは別にお返しします)
- 特典② 設置したプレートの写真をプレゼント!!
- 特典③ 北条鉄道フリーきっぷ1枚進呈

あなたの応援で毎日の安全運行を支えます!

枕木一本 **4500円** (お一人様何本でもOK)

出典) 北条鉄道 HP より

< 北条鉄道キハ40のクラウドファンディング >



出典) 北条鉄道 HP より

< 加西市のふるさと納税の使い道の一例 >

寄付金の使い道について

加西市への寄附金の使いみちには、以下の13の区分があります。ご希望の返礼品をお選びいただき、寄附の申し込みの際にいずれかの使いみちを指定してください。



3 北条鉄道の活性化
(沿線整備事業)



4 公共交通機関の
整備に関する事業

出典) 楽天ふるさと納税 HP より

基本方針Ⅳ：市外からの人も愉しみ回遊する公共交通での環境づくり

施策 12

市内を周遊しやすくするための移動サービスの提供

■現状・課題

- 加西市では、2022（R4）年4月に加西市地域活性化拠点施設「sora かさい」や屋内型遊戯施設とテレワークセンターが融合した施設「かさいこども広場&パパママオフィス『アスモ』」が整備されており、施設整備に合わせて sora かさい線などの観光に特化した公共交通が運行されています。
- 市内各所にある観光施設を周遊するためには、移動手段のひとつとして公共交通の整備・拡充が必要となります。
- その他にも、北条鉄道の北条町駅及び法華口駅においては、シェアサイクルの貸出を行っており、一定の利用があることから、観光施設までの移動手段や通勤・通学での利用も考慮し、さらなる活用を図る必要があると考えられます。

■めざす姿

- 市内の既存公共交通を活用・連携しながら、新たな観光交通の導入を進めることで、市内観光地の周遊促進を図ります。

■めざす姿の実現に向けた事業

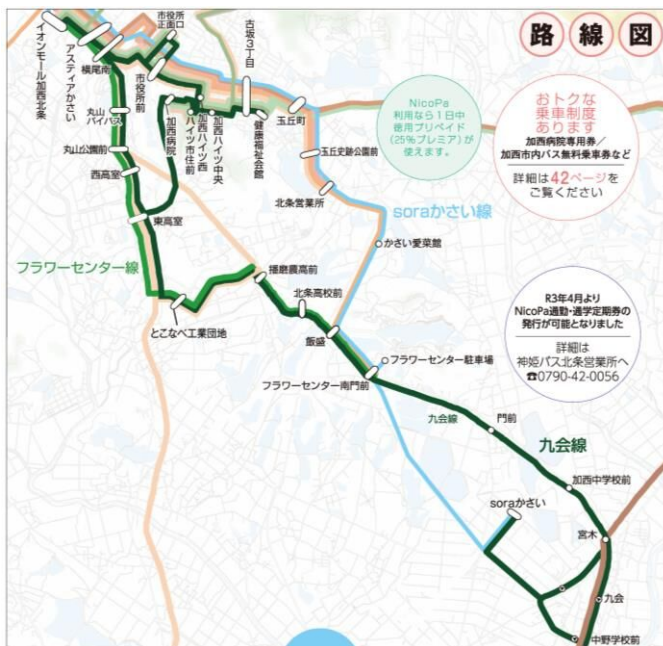
分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
主要事業	③③観光交通の導入・拡充・推進	sora かさい線の利用促進を図るとともに、観光地までのラストワンマイル交通の導入を検討します。	2023（R5）年度より導入に向けて検討	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者
	③④シェアサイクルの利用促進	北条鉄道の北条町駅及び法華口駅に設置されているシェアサイクルの広報を行うなどの利用促進を図り、観光地の周遊をはじめ、生活交通としても二次交通をシェアサイクルで支えていけるような役割を定着させていきます。また、貸出時間や人件費などの制約にとらわれないようなシェアサイクル事業の検討も進めます。	随時	加西市 鉄道事業者

【主要事業】

施策 12：市内を周遊しやすくするための移動サービスの提供

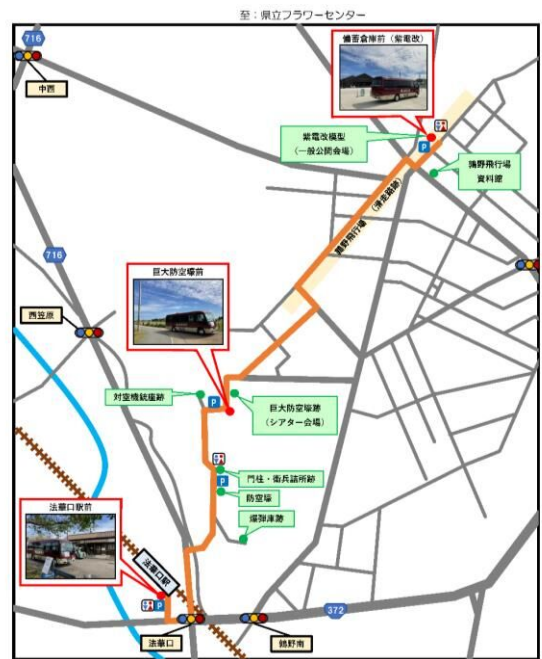
事業	③観光交通の導入・拡充・推進
実施主体	加西市、鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者
実施時期	2023（R5）年度より導入に向けて検討
事業内容	観光面での公共交通の利用促進を図るために、2022（R4）年度よりねっぴ〜号 sora かさい線を導入しています。今後は sora かさい線の維持・利用増を図るとともに、観光タクシーや法華口駅〜sora かさい間を結ぶシャトルバス・電動キックボードなど、新たなモビリティ等も含めたラストワンマイル交通（鉄道駅、バス停から観光地等までの交通手段）の導入も検討します。

< sora かさい線路線図 >



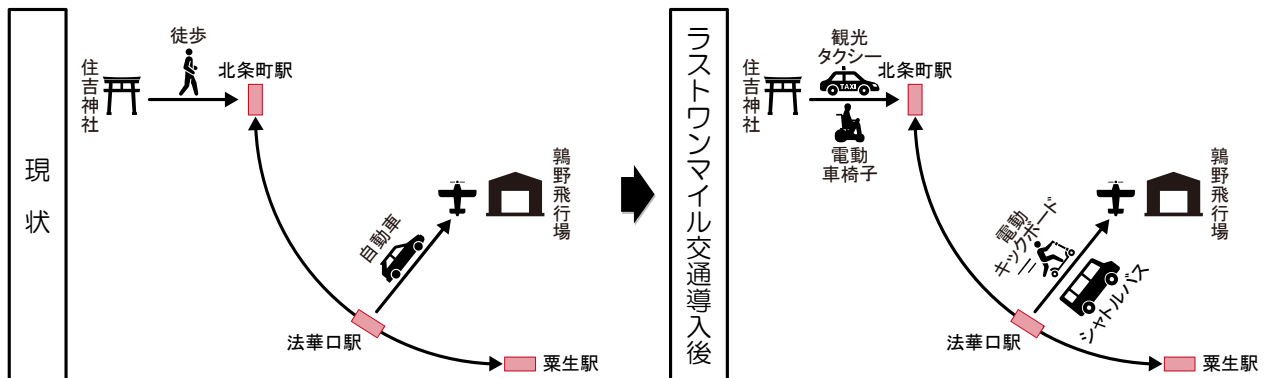
出典) かさい おでかけ ナビ (2023 [R5] 年4月発行) より

< 法華口駅〜sora かさい間 シャトルバス路線図 >



出典) 加西市所管データ

< ラストワンマイル交通導入イメージ >



- **ラストワンマイル交通導入のメリット**
- ・ 鉄道駅・バス停から手軽に観光地等に行ける
 - ・ 観光地内の移動もスムーズにできる
 - ・ モビリティによっては自動車運転免許証の無い方や身体の不自由な方でも気軽に移動できる など

基本方針Ⅳ：市外からの人も愉しみ回遊する公共交通での環境づくり

施策 13

市内の回遊を促進する PR 等の実施

■現状・課題

- 北条鉄道では、イベント列車や鉄道まつりなど、様々なイベントを開催しており、人気を博しています。
- また、路線バスでも加西市にちなんだ企画乗車券が発行されているなど、観光面においても利用促進を図っています。
- 近年、公共交通とも相性のよい自転車の利用が推進されており、他都市では鉄道と自転車が連携したイベントや取組が実施されています。
- 鶉野飛行場跡に整備された「sora かさい」では、戦争と平和を学ぶことができるなど、日本人のみならず外国人の関心も高いと思われ、加西市としても全国的なインバウンド需要に対応していく必要があります。
- 公共交通の利用促進にあたっては、積極的な PR 活動は必要不可欠となります。

■めざす姿

- 積極的な公共交通の利用を促進する PR を行うことで、利便性を認知してもらうとともに、利用者数増加による持続的な公共交通をめざします。

■めざす姿の実現に向けた事業

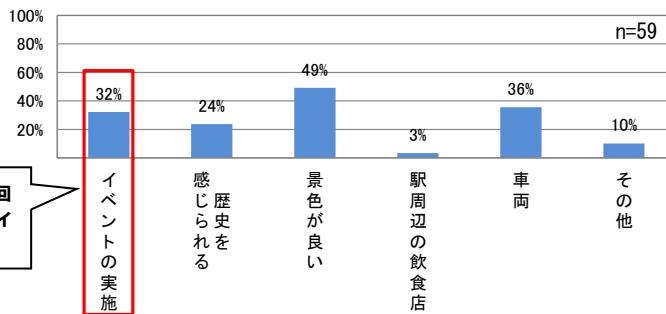
分類	事業	事業概要	実施時期	実施主体
主要事業	③⑤北条鉄道における各種イベント等の実施	現在取り組んでいる各種イベントを今後も継続的に実施していくとともに、北条鉄道に乗ってみたい、加西市へ行ってみたいと思っていただけるようなイベントやイベント列車の運行を検討します。	随時	鉄道事業者 加西市
	③⑥企画乗車券（観光地周遊乗車券等）の継続・拡充	法華山一乗寺などを巡る「姫路観光周遊きっぷ」を継続させていくとともに、加西市内の観光地を巡ることができるような新たな企画乗車券を検討します。	拡充に向けて検討	加西市 鉄道事業者 バス事業者
主要事業	③⑦鉄道と自転車の連携による回遊促進	サイクリングコース「カサイチ」と連携した自転車と鉄道にちなんだイベントの実施を検討します。また、北条鉄道に自転車を持ち込めるサイクルトレインの導入を検討します。	2023（R5）年度より実施に向けて検討	加西市 鉄道事業者
	③⑧インバウンド需要に対応した環境整備	歴史的観光施設への外国人観光客の来訪を想定して、時刻表の多言語表記やアンテナショップの整備などの対応を検討します。	随時	加西市 鉄道事業者 バス事業者 タクシー事業者

【主要事業】

施策 13：市内の回遊を促進するPR等の実施

事業	㊸北条鉄道における各種イベント等の実施
実施主体	鉄道事業者、加西市
実施時期	随時
事業内容	現在取り組んでいる各種イベントやイベント列車を今後も継続的に実施していくとともに、北条鉄道に乗ってみたい、加西市へ行ってみたいと思っただけのようなイベントやイベント列車の運行を検討します。

＜ 北条鉄道の魅力 ＞



「イベントの実施」は比較的回答が多く、今後も継続的にイベントを実施する必要がある

- ※1) 北条鉄道に乗ること（見ること）を目的とされている方の回答を集計
 - ※2) 平日・休日2日間の全回答者の調査結果を示す
- 出典) 北条鉄道利用者アンケート調査結果より

＜ 北条鉄道沿線でのイベント及びイベント列車 ＞

北条鉄道 四季のイベントのご案内

- 春 (4月) さくらまつり**
参加費：無料
- 夏 (7月) かぶと虫列車**
場所：列車内
参加費：有料
- 秋 (10月) 鉄道まつり**
参加費：無料
- 冬 (12月・1月) イルミネーション**
場所：長駅・法華口駅・田原駅
参加費：無料
- 冬 (12月) サンタ列車**
場所：列車内
参加費：有料

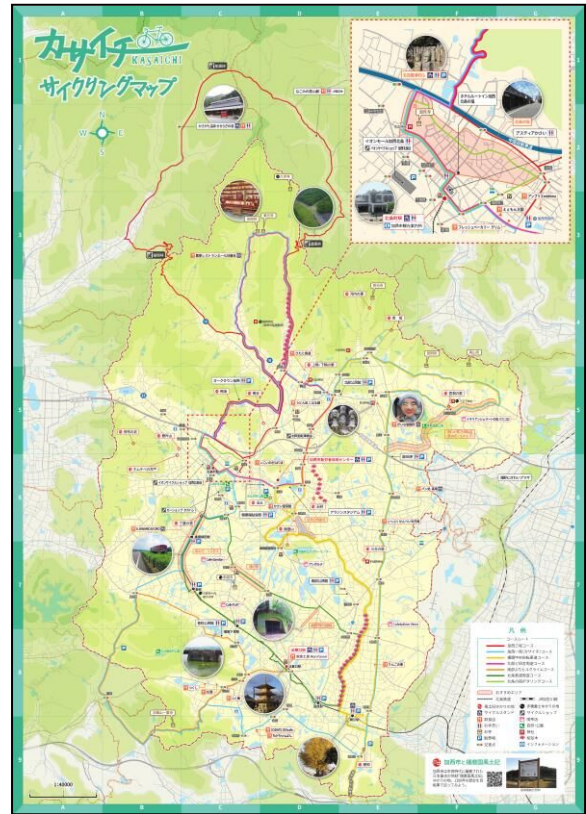
出典) かさい おでかけ ナビ (2023 [R5] 年4月発行) より

【主要事業】

施策 13：市内の回遊を促進するPR 等の実施

事業	⑳ 鉄道と自転車の連携による回遊促進
実施主体	加西市、鉄道事業者
実施時期	2023（R5）年度より実施に向けて検討
事業内容	<p>加西市では、全国的な自転車需要の高まりを受けて、加西市内を一周する「カサイチ」などのサイクリングコースを設定しており、多くのサイクリストの方がチャレンジされています。「カサイチ」のサイクリングコースの中には北条鉄道と並行して走行できる区間もあり、播磨横田駅の前を通過するなど、北条鉄道へのアクセスもしやすい設定となっています。このことから、市外からサイクリングに来る人などを対象とした、鉄道と自転車の連携によるサイクルトレインやイベント等を実施することで双方の利用促進を図ります。</p>

< カサイチサイクリングマップ >



出典) かさい観光ナビ HP より

< sora かさいでレンタルしている自転車 >



出典) 加西市所管データ

< 他都市におけるサイクルトレインの事例 >



出典) 京都府 HP より